

＜自己を見つめる力＞
自己理解・自己管理能力

書く時期としては、4月～5月がよいでしょう。特に、2については、1年間の自分の目標にもなる内容です。

□自分を見つめよう！

6年生：令和 年 月 日（ ）①

1 自分のよいところを書きましょう。また、得意なこと・苦手なことを書きましょう。

自分のよいところは、こんなところ！

自分のよさを積極的に見つけられるようになることが大事です。自分を肯定的にとらえる態度を身に付けさせることが大切です。

学校の活動では？

◇得意⇨

◆苦手⇨

教科は？ …特に、どんな内容？

◇得意⇨

◆苦手⇨

お家では？

◇得意⇨

◆苦手⇨

自分のことを分かりかけてきています。他の人の意見を聞いて、自分のよさに気付いたり伸ばそうとしています。

そのようなことを考慮しながら、学校生活、家庭での生活などの具体的な場面を思い浮かべさせて書かせるようにします。



2 この1年間で、がんばりたい（できるようになりたい）ことは何ですか？

がんばりたい（できるようになりたい）

継続して取り組めることと、確実に成長が実感できる内容がよいでしょう。取り組むことで自信を持たせることが大切になります。「できた」「頑張れた」と思えることが大切です。

そのことができるようになるためには、どんな努力が必要かな？

発見♡ふるさと

地域の中から、好きな場所・人・ものを書きましょう。

3 将来の自分の夢や目標は何だろう。

将来どんな仕事をしたい（してみたい）ですか？

将来の夢を書けない児童がいるかもしれません。上の「得意なこと」から導いてあげると書けるかもしれません。また、自分の好きなことから、職業の裾野を広げてあげるような働きかけも有効です。

なぜ、その夢をもちたいのか？

- (例)「サッカーが好きだ」という児童に対して、
- ・サッカーシューズを作る仕事
 - ・サッカーの雑誌を作る人
 - ・サッカーのユニフォームを作る人……。

お家からのサイン

1ページごとに保護者からのサインをもらうことで、児童と保護者、学校と保護者のつながりを作ります。



□ 「いろいろな役わり」で、 たくさんの人とつながっています

📎 1 家でしている手伝いを書きましょう。また、それをとおして感じたことを書きましょう。

家でしている手伝いは、

それをとおして、どんなことを感じましたか？

学級ばかりでなく、学年や学校全体の中で役割をもつようになります。また、地域とのつながりで活動する場面も出てきます。活動範囲が広がる中で、自分の役割や自分の存在意義に少しずつ気づき始めます。
さらに、周囲の人との関係の中で自分が役割等を果たしていることに気づき始めます。人との関係の中で自分の役割をとらえさせるようにすると効果的です。

📎 2 学級の係や仕事を書きましょう。また、それをとおして感じたことを書きましょう。

学級の係や仕事は、

学級や友だちの役に立っていると感じたことを書きましょう。

📎 3 委員会活動、たてわり活動、クラブ活動などでの役わりを書きましょう。また、それをとおして感じたことを書きましょう。

学校での役わりは、

学校やだれかの役に立っていると感じたことを書きましょう。

📎 4 町内や地域の人たちといっしょにしている活動を書きましょう。また、それをとおして感じたことを書きましょう。



町内や地域の活動は、

地域の人たちの役に立っていると感じたことを書きましょう。

地域の活動に参加したことのない児童には、自分が知っている活動を書いてもらうようにしましょう。地域の活動に参加はしていないけれど、地域の活動が自分にも関係しているんだということを知ること、そのような活動をしている人がいるということに気付くことも大切なことです。

あ く し ゅ いろいろな人と活動をしていますね。その中で、元気が出たできごとは何ですか？

Blank scroll area for writing answers.

お家からのサイン

<動く／生かす力>
課題対応能力

書く時期としては、様々な活動をしてきた、
2学期中頃～後半がよいでしょう。

自分の行動を 生かしていこう！



6年生：令和 年 月 日（ ）③

1 身の周りで、「もっとこうすればよくなる」と考えていることを書きましょう。

①どんな場面でのことですか？

.....

.....

.....



②「もっと（ ）すればよくなる」

身近なところで考えさせるようにしましょう。できれば、自分の行動が及ぶ範囲の方が効果的です。
ただし、他人を批判するような内容にならないよう注意が必要です。

2 1で書いたことを解決するためには、どのように行動すればよいか書きましょう。



.....

.....

3 毎日の生活の中で、「自分で決めて取り組んでいる」ことから、「これからも続けていきたい」と思うことは何ですか？（勉強・生活・その他あてはまる場面を○で囲もう）

その①（勉強・生活・その他）

取り組んでいること

その②（勉強・生活・その他）

取り組んでいること

.....

様々なことに取り組んでいきます。そのひとつひとつが自分を支える経験となっています。そのようなことを考慮し、よい行いに気付いたり続けたりすることが大切です。また、今までの経験の中で、こうすればよかったと気付くことも大切です。

.....

.....

.....

4 「続けて取り組んでいること」が、これからの自分にどのように役に立つのか、考えてみましょう。

.....

.....

.....



発見♡ふるさと

自分たちの地域で、自ま^いんでできるもの(こと)を書きましょう。

お家からのサイン

あら
□**新たな一歩をふみ出そう！**

📎 1 この1年間で、がんばりたい（できるようになりたい）ことは、どうなりましたか？

がんばりたい（できるようになりたい）ことは、

それは、どうしてですか？

（できた理由、できなかった理由を書きましょう）

いろいろな人と関わり、新しい考えに気付いたり、やり方をいろいろと工夫したりしています。

そのようなことを踏まえて、仲間と協力して頑張り、やりきったこと、自分なりに工夫して頑張れたことなどを、具体的な場面を思い起こさせながら書かせると効果的です。

📎 2 友だちと話し合ったり、協力したり、工夫したりして活動できましたか？ あなたが友だちといっしょにがんばったと思うこと、自信を深めたことをしょうかいしてください。



仲間とともに活動した中で、話し合いをしながらよりよいものを作り上げたり、協力することでやり遂げたり、あるいは、仲間のよい意見に気付いたりしてうまくできた経験を書くようにしましょう。

📎 3 中学生でがんばりたいと思うことは、どんなことですか？

改善したいこと、続けていきたいよかったことなど「なりたい自分」を明確にすることで、前向きに取り組む意欲を高めるようにすることが大切です。



メッセージ

お家の方から

お家の方からは、よかったことを認めてもらう方向で書いてもらうようにしましょう。また、この部分を取り上げて、学級通信などで紹介するのも効果的です。

先生から

中学生に向かっていけるような視点で、児童の頑張りを褒めます。児童の具体的な場面や言葉等を取り上げます。